

# 放課後等デイサービススタッフへの 公認心理師による行動コンサルテーション

——利用児のきょうだいに対する学習行動の支援事例——

○堀内悠

津川伸幸

（立命館大学大学院 人間科学研究科）（NPO 法人 木の家 和（NAGOMI））

KEY WORDS: 放課後等デイサービス、行動コンサルテーション

## （目的）

2012 年の児童福祉法の改正に伴い、発達障害児への福祉サービスがより精緻化される中で、放課後等デイサービス（以下、放デイ）をおこなう事業所が急速に広まった（岸, 2020）。厚生労働省のガイドラインでは、放デイが担う役割として、利用児への支援だけでなく、その保護者やきょうだいへの家族支援も期待されている。

しかし、事業所が急増したものの、提供されている支援の質や支援者の専門性に関する指摘が多くなされている（小野, 2018; 岸, 2020）。

そこで、放デイにおける支援の質の向上や、より充実した家族支援の提供を目的として、放デイスタッフへの公認心理師による行動コンサルテーションを実施した。

## （方法）

**参加者:** 放デイの利用児のきょうだいを「クライアント」、そのクライアントに関わるスタッフを「コンサルティ」、発表者は「コンサルタント」として参加した。

クライアント…公立中学校通常学級に在籍する 3 年生の女兒であった（以下、A さん）。A さんは専門機関における検査や診断で発達障害等の指摘は受けていなかったものの、A さんの母親曰く「気になる子」であった。

コンサルティ…当該放デイ事業所に所属しており、A さんの母親からの要望により、本研究の開始以前（X-2 年）から A さんに対して勉強を教えていた。

コンサルタント…応用行動分析学を専門とする公認心理師であり、当該放デイ事業所に対して毎月 2 回のコンサルテーションを通して助言や提案を実施していた。

**手続き:** A さんへの支援内容によって 3 フェーズに区切った。なお、本研究の発表において A さんの保護者および当該事業所より同意を得ている。

コンサルティの動き…原則として週 1 日・1 回 90 分、A さんへ英語科目の学習指導を A さん宅で実施した。X 年 8 月ごろより学習指導中に A さんが眠ってしまうことが増えたと感じ、コンサルタントへ相談した。以降、コンサルタントからの助言・提案に応じて A さんへ関わった。

コンサルタントの動き…X 年 8 月にコンサルティより当該事象に関して相談を受け、A さんの様子および行動の記録をコンサルティへ指示した。記録を基に機能的アセスメントをおこない、コンサルティの関わり方と A さんの眠気および学習行動との関連性について助言・提案をした。

各フェーズでの内容…フェーズ 1 では、コンサルティが主体となり、眠気除去および学習行動の増大に影響を与える要因を模索した。フェーズ 2 では、フェーズ 1 で模索した要因のうち効果が高いと期待された関わり方（A さんがスマホを触る時間を設ける（以下、スマホ休憩））を実施した。フェーズ 3 では、フェーズ 2 の関わり方を分析し、より有効に機能するように、スマホ休憩をどのタイミングで実施すべきかを調整した。

## （結果）

A さんの学習時間の推移を Fig.1 に示した。縦軸は A さんの学習従事時間（分）、横軸は A さんへの学習支援実施日（セッション）とした。なお、フェーズ 1 はセッション 1 から 4 まで、フェーズ 2 はセッション 5 から 9 まで、フェーズ 3 はセッション 10 以降とそれぞれ対応する。

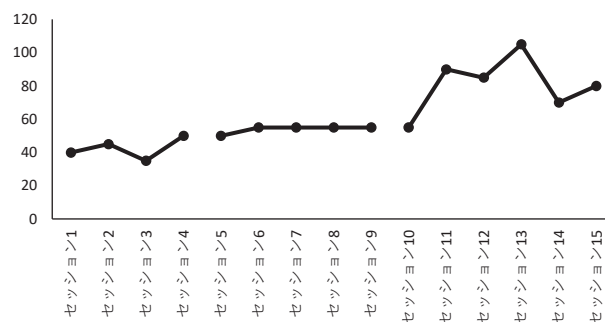


Fig.1 Aさんの学習従事時間の推移

フェーズ 1 と 2 では、学習時間に大きな改善はみられなかったものの、フェーズ 3 では学習時間の増大がみられた。なお、フェーズ 2 以降では、学習中に眠気を催した後に A さんが眠ってしまうことはなかった。

## （考察）

フェーズ 1 から 2 においては、スマホ休憩が眠気の除去に影響し、フェーズ 2 から 3 においては、スマホ休憩のタイミング調整が学習時間の増大に寄与したと考えられる。フェーズ 2 では「学習中に眠気を訴えるとすぐにスマホ休憩を与える」というタイミングだった。しかし、フェーズ 3 では「眠気を訴えてから、学習に取り組む（数問だけ課題を解き進めるなど）とスマホ休憩を与える」としたことが学習行動へ影響したと推察される。

したがって、専門家による適切な助言・提案の有効性が示唆された。今後より知見が蓄積されることで、公認心理師などの専門家による行動コンサルテーションによって、放デイ事業所が提供する支援の質の向上および家族支援の充実につながる事が期待される。

## （文献）

- 小澤 温 (2018) 放課後等デイサービスの現状と課題. 小児保健研究, 77(3), 227-229.
- 岸 良至 (2020) 第IV部放課後等デイサービス. 宮田広善・光真坊浩史(編著), 新版障害児通所支援ハンドブック. エンパワメント研究所, 115-162.
- 厚生労働省 放課後等デイサービスガイドライン.  
<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12201000-Shakaiengokyo/kushougai/hoken/fukushibu-Kikakuka/0000082829.pdf> [閲覧日: 2021. 5. 31]

(HORIUCHI Yu, TSUGAWA Nobuyuki)